

日光昔物語

第六話

～霧降高原リフト事業所～



夏山リフト営業開始時の第1リフトの様子(昭和41年)



現在の第1リフト

霧降高原リフト事業所は、9月下旬から無料になる霧降高原有料道路の区間にあり、日光側のゲートから有料道路に入ると、六方沢の手前に位置しています。昭和40年に霧降高原スキー場として開設し、翌41年には四季を通じて自然に親しんでもらおうと、夏山リフトの営業も開始しました。さらに翌42年にリフトを増設し、終点の標高は1,550mとなりました。終点からは関東平野を一望できるだけで

なく、時には雲海をも眼下に見渡すことができ、その眺望はまさに雄大の一言です。また霧降という地名のとおり、6、7月にかけては霧が多く発生し、その幽玄な景色も魅力の一つです。現在、冬季のスキー場は休業中ですが、色とりどりのツツジが咲く春、黄色のニッコウキスゲが一面に咲き乱れる初夏、美しい紅葉の秋と、四季折々の豊かな自然の姿を見に、たくさん観光客が訪れています。

今月の表紙



8月4日(金)、中禅寺湖畔で扇の弓道大会が開催されました。この大会は、那須余一が屋島の合戦で「南無八幡大菩薩別けても日光二荒山大神願わくば其の扇を射させ給え」と祈念して扇的の射落とした故事に倣って二荒山神社が開催しているものです。全国一の参加者数を誇り、千500人以上が参加しました。

8月の人口と世帯数

人口	95,575人	(-95)
男	46,652人	(-36)
女	48,923人	(-59)
世帯数	35,934世帯	(-5)

※住民基本台帳による(8月1日現在)
※()内は前月比

9月になって夏休みも終わり、毎朝登校する子どもたちの姿が戻ってきました。まだまだ暑い日が続きますが、夜には虫の声も聞こえ、秋の気配が感じられるようになりました。

秋といえば芸術の秋。クラシックコンサートにでも足を運ぼうかと思いますが、客席ですっと眠り続ける姿が目につかびます。

秋といえば読書の秋。文学作品を読もうとしても、いつの間にか分厚い本を枕に眠りに落ちるか、マンガに興じるのが関の山です。

ふとアルバムを見ると、親戚の運動会に遊びに来た、3歳くらいの私の写真がありました。写真の中の私は運動会そっこので栗を食べ、満面の笑みを浮かべています。どうやら私にとっては、昔からスポーツの秋よりも食欲の秋のようです。皆さんはどんな秋を過ごすのでしょうか？ 明らかに体重オーバーの私は、今年こそ食欲の秋の誘惑から逃れなければ！(成)

